

創立143周年記念事業

第21回アーデル基金講演会

平成30年10月5日(金) 14:00開演

これから女子の生きる道 あなたを待っているのはどんな世界か

講師〈社会学者〉

うえの ちづこ
上野 千鶴子氏

会場

栃木県立宇都宮女子高等学校
第一体育館

宇都宮市操町5番19号



撮影 菅野勝男

◇ 略 歴

1948年富山県生まれ。
京都大学大学院社会学博士課程修了。
平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、
京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、
ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院
大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授（社会学）。
1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会
系研究科教授。2011年度から2016年度まで、立命館大学特別
招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクシ
ョンネットワーク（WAN）理事長。
専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであ
り、指導的な理論家のひとり。
近年、高齢者の介護とケアの分野に研究領域を拡大している。
1994年『近代家族の成立と終焉』（岩波書店）でサントリー学
芸賞受賞。
2011年度、「朝日賞」受賞。受賞理由「女性学・フェミニズムと
ケア問題の研究と実践」

◇ 主な著書

『上野千鶴子が文学を社会学する』（朝日新聞社）
『当事者主権』中西正司氏と共著（岩波新書）
『家族を容れるハコ 家族を超えるハコ』（平凡社）
『おひとりさまの老後』（法研） 『女ざらい』（紀伊國屋書店）
『女は後半からがおもしろい』坂東眞理子氏と共著（潮出版）
『結婚帝国』信田さよ子氏と共著（河出書房）
『不惑のフェミニズム』（岩波現代新書） 『ケアの社会学』（太田出版）
『現代思想 総特集 上野千鶴子』（青土社）
『ナショナリズムとジェンダー』（岩波現代文庫）
『生き延びるための思想』（岩波現代文庫） 『快樂上等』（幻冬舎）
『みんな「おひとりさま」』（青灯社） 『女たちのサバイバル作戦』（文藝春秋）
『ニッポンが変わる、女が変わる』（中央公論新社） など多数
近刊：
『何を怖れる』共著（岩波書店） 『古い方上手』共著（WAVE出版）
『上野千鶴子対談集 思想をかたちにする』（青土社）
『上野千鶴子対談集 セクシュアリティをことばにする』（青土社）
『非婚ですが、それが何か!?』対談集（ビジネス社）
『おひとりさまの最期』（朝日新聞出版）
『上野千鶴子のサバイバル語録』（文藝春秋社） 『時局発言!』（WAVE出版）
最新刊『おひとりさま vs. ひとりの哲学』（朝日新書）

主催 栃木県立宇都宮女子高等学校アーデル基金 栃木県立宇都宮女子高等学校
問合せ 宇都宮女子高等学校 TEL: 028 (633) 2315 FAX: 028 (637) 7630